無許可開発に道が現地調査へ

売られた足寄の開拓地

足寄ハイランドによる小坂山の観光開発が道の自然環境保全条例にもとずく厳しい規制と余暇開発センターの指導によって念には念を入れて慎重にことがはこばれているおりから、上芽登、柏倉、喜登牛などの開拓者の山林や原野約三百㌶が不動産業者に売られて、これが風光明眉で近くに温泉のある分譲別荘地として週刊紙などに宣伝されて売りに出されて問題になっています。

阿寒国立公園をバックにした景勝地と思い込んで買わされた関西方面の人々から字名番地を頼りに、このところ登記所（法務局足寄出張所）へ問い合せもあるそうで、現地はすでに宅地割りをして道路や側溝を設けたところもあり、これに関連して盗伐事件も発生して本別警察署で取調べ中という副産物もあります。

開発にあたっているのはかつて小坂山周辺一千㌶の町有地売払いにハイランドと競願した共立グループといわれていますが、この三百㌶のなかには農振地域がふくまれているのに、その除外の手続きもせず許可を得ていないこと、別荘地造成などの特定開発行為は道条例によって規制されているのにその承認を得ていないことから、道当局では十二日に現地調査に入ることになりました。

医師はなぜこない

電波に乗った両町の現状

一日のNHK「北海道の窓」で足寄、陸別両町をふくめたへき地医療の現状がとりあげられました。

◎陸別町民の声

ー市街の個人病院で心安くしているんですが、夜間だと電話かけてもなかなかきてくれないんですよ、急々の場合は薬屋さんです。

ー私ども弱いものは病院がないと困ります、個人病院だと検査ができないから置戸とか帯広へいきます。

◎アナウンサー

ー私達、カゼですと近くの開業医でもいいんですが心臓病とか肝臓病とかになると大きな病院で総合的に検査してもらわなければならない、そのために近くの開業医では間に合わない、さらには夜、急患の場合はどうするか、大変に頭の痛い問題、もっともっと気の毒なのは無医地区の問題で無医地区とは半径四㌖以内に人口が五十人以上あってお医者さんのいない地区です。十勝管内には五十九カ所の無医地区があります。このような町村ではへき地に患者輸送車を運行させましてこの地区の人々の医療を確保しています。陸別町は三カ所の無医地区がありますが（足寄は十一カ所）斗満の人々に病気になった場合どうしているか伺ってみましたが、やはりからだの悪い当人にとってあまり遠くへいくことは困難であるということで、私達も取材中にしばしば救急車が患者をはこんでいく姿をみました。この救急車は足寄町の町立国保病院へ大体いっているようですが、足寄町の国保病院では三〇%がほかの町村からの患者だそうです。

◎加賀谷足寄町立病院長

ー地元の人達の診断、治療だけでもかなり多く、昼間入院患者、外来患者の診療を予定してくんだスケジュールをくんだ時点で時々入られるのでスケジュールどおりの仕事ができない急患が入った場合は病院総動員で、内科の医師も看護婦もレントゲンも検査室も総動員で、それから夜間の急患一人のために何時間も費やし朝までかかることもあり、そのときは午前中の診療は苦しい、患者一人一人に親切、丁寧なぬかりのない正確な診断と治療をやってあげるためには医師が足りないということです。

◎アナウンサー

ー病院は大変待たされ三時間待って三分の治療とよくいわれますが、足寄町の国保病院は周辺の町村から患者がはこばれ、特に急患夜間の場合は医師が総動員で処置にあたらなければならない、ここには三人の医師がいてそのローテーションもくずれてしまう、一人の医師が限度以上の仕事をしています。とにかく医師の絶対数が足りない、指導機関である保健所の場合でも十勝管内で医師が十名必要なところ、池田と本別で一人、新得、帯広で一人、広尾に一人と三人しかいなくそれも所長と兼任ですからほかの医師不足に手がまわらないーなぜ辺地に医師がこないのか。

◎加藤十勝医師会長

ーやはり医師も人間なんですから人間的なものを考えてほしい、同じ最高の教育をうけてきてどうして私だけが田舎へいかねばならないのかということだと思います。いままで定着している医師の人は二代、三代の人達がいますが、そういう人々は先祖代々からの天職と思っています。辺地の医師にとっては自分自身の勉強の問題、子弟の教育の問題、生活環境の問題ーそれらが根底に入ってくる問題で、それらにたいする私どもの要求にたいしていままでは各地方自治体や国はなんらの政策もおこなっていない、いままで開業医は勝手に田舎で開業している状態です。

このあと加藤会長は、へき地の医療を充実させるためには、管内四カ所にセンター病院を設けて、そこに十名づつの医師を配置して周辺の町村をうけもつようにすべきだと提案、この番組のしめくくりとして、へき地に医師のこない理由は

一、過重労働である

二、現代医学におくれる

三、医療設備が完備していない

とのパターンが示されました。

いらっしゃい

快適な老人ホーム

足寄町では市街はずれの美盛地区に寝たきり老人やからだの不自由な老人のための特別養護老人ホームを建設中でいよいよ明春には五十名のおとしよりを迎えることになるので、その受け入れ態勢の心がまえを身につけようとー町社会福祉協議会（三宅隆義会長）では十月三十日に町内の老人や主婦など四十名とともに先進の士幌や本別のホームを視察しました。

両町の施設とも明るくキレイで近代化しており、施設長以下の職員も親切で暖かい雰囲気にあって、かつての養老院のジメジメしたものではなく、老後をすごすには快適な住まいであるとの印象をうけたようです

特に士幌の場合は足寄と同じ運営となる施設なので念入りに見聞しましたが、ここの山中施設長は

一家のなかにからだの不自由な老人がいれば、家族としては大切にするのは当然で、いつまでも手元においていたわってあげたいのは人情ですが、家族が四六時中一人の老人の身のまわり食事から下の世話までを三百六十五日つづけるのは、いくら肉親といえども容易なものではなく、しかも完全な看護ができる体制にはないので快復していく環境ではなく、お互いに不満足な毎日をおくるよりもこうしたホームに入ることが本人のためでもあり家族のためでもあると思う、ここでは五人に一人の割りで寮母がつききりでお世話をしており三度の食事はわれわれ職員の家庭よりもご馳走で老人によっては流動食を一時間近くもかけて食べさせてあげるし、下のタレ流しの方のお世話も充分にしており、ここに入って床ズレをする方はいない筈で寮母が常に寝姿の向きをかえてあげるし寝具、衣類、下着、おしめなどの洗濯、消毒は機械化されており、食事は専門の栄養士が腕をふるっており、入所してから顔色もよくなり眼も耳もよくなったという老人が多い、職員が献身的にお世話できるのは、それぞれ家庭をもっているので勤務は交替制で切れ目のない体制をとっているので自分の責任時間を精いっぱいつとめるためで、家庭よりもゆきとどいたお世話ができると思う、費用は老人一人あたりに毎月八万円をかけているが、入所者の負担は、生活保護家庭は無料、町民税が均等割の家庭は月一千二百円の負担で、現在所得の多い家庭からの老人で最高が月九千円の負担となっている

とのことで『家族との面会は自由だし、遠慮なくいらっしゃい』と入所を歓迎しています。

足寄町では一日付で農政課長補佐の杉本太氏を民生課長補佐に発令して特別養護老人ホーム開設事務担当に起用して、半年後に迫った〃店びらき〃の準備作業にとりかかることになりましたが、五十名の定員にたいして欠ければ欠けるほど国からの措置費がへって町の財政負担がふえるので、入所者の確保も大切な問題となっています。

長谷川氏、道議選断念の心境

本別町の長谷川氏は早くから次期道議選対策に専念していて、十勝郡部の定員五名が四名に減員になっても有望とみられる立場にあっただけに、このたび突然の出馬断念について九日夜卒直に本人の心境をきいてみました。

『いままで準備していたわけですが、去年の九月から十二月まで議会中に気分が悪くなって声が出なくなったが、治ったものと思っていたんですが、また九月ごろから少しづつ悪くなったがまた去年のような調子なら治るかと思うんですが医者の方で気をつけたらいいんでないかというので精密検査に五日までに四カ所ほどかかって帰り、十七日に東京へいって慶応大学の耳鼻咽喉科で治療をうけるが結果はわからないが、そんなことでみなさんがことをすすめてきてズルイ奴だまぎわになってやめたとなっては困るので後援会の方々のご諒承を得たわけです私のノドは流行歌手などに多いそうですが弱いというかはれるので半年くらいジックリ養生すれば治るというんですが手術をすればヘタをすれば声が全く出なくなる心配もあり危険なので時間をかければ治ると思うが、それにしても時日が迫っているで、私が出なければ足寄から出るというはなしもあるし、上り線からのはなしもあるからこのまま様子をみようというはなしもあるし、十二月までにキチンと治ってしまえばその時点でということもあるがそれにしても後援会の方々にご諒承を頂いたわけですやめるといってもダメだと今日も何人もいらっしゃるし電話もくるし他町村の方でも承知しないといわれるが、その答えも結果はいつ治るかハッキリしないのでいまのところということでガンではないのでー九月に寝不足がつづいてカゼも引きそれやこれやで悪くなったもので、十七日に東京へいくことになったので出られないかもしれないとー後援会のご諒解を頂いた、これ以上ドンドンやってもらいながら医者にかかっていてはおかしなはなしで、古くから出ている人ならそれでもよいかもしれないが、期待をされながら私ごとでくじけるのはおかしいので家族が反対といわれたが、家内はからだが悪いので困るというが娘はここまできてみなさんにご迷惑をかけてきたのだから死んでは困るがけども途中で悪くなっても本人は家のものだから仕方がないんではないかというんですが、治ればいいんですがもしもということになると引きつづいてみなさんにご迷惑をかけることになるのは適当かどうかと心配でー一応諒解を頂いたわけです』

とのことで、症状は声帯の膜がはれるので声を使うのがよくないので、専門医によって長期治療が必要となっています。

なお、後援会のなかでは長谷川氏が健康になり、水元町長が今期かぎりで勇退の場合はそのがまにとの声も出ています。

投書の方へ

十月二十八日付の「一町民」の投書について調査しましたが、ご指摘の事実があったので責任者に申し入れて適正に処置することになり、本人も反省していますので、こんごこのようなことがおきないようになると思います

明るいスナック
シャンブル
足寄町南一区　T 二四三九

不動産についての御相談は
調査　売買　あっせん　管理　分譲
代行　登記　損害保険　代理まで
同和、興和火災保険代理店
北海道免許十26
足寄不動産事務所
足寄町本通り三丁目　T 二二三四五

一五〇㌔高速ホイルバランサー
レッカー車　フレーム修正機
RM アクリル　調色機
新鋭機　導入！
札幌陸運局認証　整備　板金　塗装
ムトウ自動車工業
足寄町　T 二五七八　夜間専用 三七一九

家具　建材　アルミサッシ
既製家具から注文建具
住宅産業に奉仕する！
有限会社　桜井家具建具店
足寄町北五区　T 二三六二　工場西五区

秋の衣料
が各産地から続々と入荷いたしておりますので御光来、御用命下さい。
物価高に負けないよう足で集めて参りましたので価格も安く、また形も流行品ですので、御満足を得られることと存じますのでお早目に秋をお買い下さい。お待ち申し上げます。
株式会社　前田呉服店
足寄町駅前商店街　T二〇二三

技術に生きる！
HIS MASTERS VOICE
世界のマーク　ビクター
テレビ
ラジオ
レコード
ステレオ
ーあらゆる電気器具ー
有限会社
ミネ・デンキ
足寄町三笠通り　T 2642